

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ヨーク大学研修プログラム
------------	--------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	60000 円	
図書費	0 円	すべてパソコンでPDFや教材が閲覧可能
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	7000 円	
現地通学費	0 円	(大学まで徒歩2分)学校内の寮であったため
教養娯楽費	60000 円	
被服費	10000 円	一週間分の下着とタオル類
雑費	10000 円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	147000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
説明に書いていない項目が出てきた。 住所の書き方が難しい。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 成田空港でカナダドルを用意した その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
けーたい屋で契約をして、SIM カードを買い、その後自分の希望のギガに設定した。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
タンブラーを持って行った方がいい(水が売っておらず、みんな学校内のウォーターサーバーを使用していた) 裁縫道具(思いもよらないことに服が壊れたりする) 多めの日焼け止めクリーム(日差しが強すぎる) 上着(カナダは思っているよりも寒い、21 度の日もある) 寮用のスリッパ(お風呂やトイレ、キッチンに行くときに便利) カップラーメン のど飴(気候の変化やエアコンでのどを痛めている子が多くいた)

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項: ・学校内で不審者に遭遇した 研修仲間に助けを求めた後、クラスの先生に話して、学校のセキュリティの人々に事情聴取された。 ・停電が起きた。 現地の学生が消防を呼んでいた。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

<p>実際に行った子からその地域の様子について聞いたりした。 1人では行動しない、夜になって地下鉄に乗るのが怖いと感じたらタクシーを積極的に利用するようにしていた。</p>
<p>4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)</p>
<p>接続について全く問題はなく、学内のWi-Fiも非常につながりやすかった。</p>

滞在形態関連
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
<p>この寮は、バストイレすべて男女共同です。 自炊はできないので、電子レンジか、お湯で食べれるものに限られます。 電気が暗いです。 クローゼットは大きいです。</p>

プログラム選択の参考となる点を記載してください
<p>留学先での学習で良かった授業名や内容</p> <p>カナダの歴史上の人物に関する授業 →ナイアガラの滝に行った際に、授業で習った人がナイアガラの滝に関係していて、関心がより一層高まったから。</p>
<p>課外プログラムについて</p> <p>メジャーリーグを見に行けたことは大変貴重な経験になった。 野球にそこまで興味がなかった私でも、メジャーリーグの雰囲気はやはり特別でこの空間を味わうだけでも意味があるなと感じた。</p>
<p>滞在先・現地での生活に関すること</p> <p>停電やカギが壊れる、洋服が壊れるなど思ってもいないことが起きます。裁縫セットを持っていくなどの備えが必要です。 また、お水が学内ではほとんど手に入らず、あっても大きいサイズのお水なので、タンブラーを持参して、学内の無料のウォーターサーバーを活用してください。</p>

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

<p>私がこのプログラムを選択した理由は、やっと大学の留学が解禁されたからです。私は大学2年生で留学に行きたいと思っていましたが、コロナ禍でそれが叶いませんでした。しかし、粘り強く待ってやっとこのプログラムが解禁され、治安的にも良い方であるカナダへの留学を即決しました。</p> <p>英語を話せるようになりたい、伸ばしたいと思うのであれば、この研修だけでは当然無理なことなので、事前の勉強、英会話を始めるなどした方がいいと思うし、また、現地では日本人の学生とも英語で話すなどの努力をしたほうが良いなど実感しました。</p> <p>現地で日本人の学生だけでスーパーに行くこと、公共交通機関やその他すべての生活になれるのは本当に大変なことです。自分を今よりも強くしたいと思えば、ぜひおすすめします。旅行で行くだけでは味わえない大変さやその中にある楽しさ、新たな発見ができると思うので、ぜひこのプログラムにチャレンジしてほしいです。また、同じ気持ちで挑む仲間に出会えてその出会いはおそらく一生ものになると思います。研修生同士で助け合いながら現地では過ごしてほしいし、そこで自分一人では到底生きていくことなどできないということを改めて気づいて、周りへの感謝をより一層持てるようになって帰ってきてほしいです。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ヨーク大学夏期研修
-----	-----------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	3 万 円	カナダの物価は高かったです。
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	0 円	
現地通学費	3 千 円	(大学まで 0 分)←大学の教室へは、徒歩で移動していました。
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	
雑費	8 万 円	お土産・バッグ
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	11 万 3 千 円	大まかな金額です。

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし。 強いて言えば、Arrivecan を申請する際に、宿泊場所を記入する箇所があり、その「Postal code」は郵便番号の事を指しています。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 渡航前に 3 万円程度換金 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
留学 1 か月前に、SIM カードを購入。利用期間は、留学 3 日前からにしました。SIMカードにしている人が多い印象でした。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
☆緑茶のティーパックは持って行ってよかったです。飲み水に関しては、サーバーがあるので、水筒やタンブラーも持って行って助かりました。 準備したほうが良かったものは、のど飴、食器用洗剤(水筒を洗う)、スリッパ、ハンガー(取り外しできない物が 5 つ程度は寮にある)、小さいハサミ(現地で商品を買った際にタグを切る)です。また、チャックがついていないトートバッグは防犯面から不安なので、チャック付きの小さいバッグをもっていけばよかったと思いました。

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: ヨーク大学の責任者・YU スクリーンの人) 特記事項: 留学期間中にコロナになりました。現地では、PCRテストは受けずに、咳や熱の症状があれば、隔離になります。(直近 14 日間のうちにカナダ国外にいた場合は、10 日間の隔離) 私は、エアコンでのが乾燥して咳が出るようになったら、授業を担当してくれている先生に YU スクリーンをするよう指示されて、やって、隔離になりました。その後は、YU スクリーンの人から連絡が来るので、その人と連絡を取って隔離をしていました。連絡方法は、主に電話です。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

<p>隔離期間があったので、その際にスマホでトロントの危険地域を調べ、一緒に研修を受けている人からも情報収集をした。複数人で必ず行動して、外では全員一斉にスマホを触らないようにしていた。チャック付きのバッグで移動した。女子だけでは、夜 19 時半になったら帰るようにしていた。女子だけの地下鉄は夜は、怖かったので、タクシー(ウーバータクシー)を使ったときもあった。実際に犯罪に巻き込まれはしなかった。</p>
<p>4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)</p>
<p>寮のインターネット接続は、安定していた。テイタム寮は、エアヨークゲストの Wi-Fi で、コロナで隔離したポンド寮は、エアヨークプラスの Wi-Fi を使った方がつながりやすかった。</p>

滞在形態関連
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
<p>テイタム寮に滞在しました。洗面所も共有部分でした。(ハンドソープはあります)寮は、夜になると、他の部屋の声が聞こえたり、現地人がパーティーしていたりして、うるさい時たまにありました。耳栓やイヤホンがあると便利かもしれません。バス・洗面所・トイレが一つに固まっており、男女共有でした。最初はシャワーも男女共有で抵抗がありましたが、慣れました。全ての階にキッチンがあるわけではありません。特定の階にあります。冷蔵庫も割と現地人でパンパンだったので、ヨークレオン(大学内のショッピングセンター)でテイクアウトをして、部屋で食べていました。</p>

プログラム選択の参考となる点を記載してください
留学先での学習で良かった授業名や内容
<p>Music of Canada の授業です。 カナダ出身のミュージシャンの話や、先生の好きな曲や私たちが好きな曲をみんなの前で流して楽しむという授業でした。いろんな曲が聞けて楽しかったです。</p>
課外プログラムについて
<p>コロナで隔離していたので、あまり行けませんでした。CN タワーとカナダワンダーランドは楽しかったです。私は行けなかったのですが、野球観戦が楽しかったと多くの人が言っていました。</p>
滞在先・現地での生活に関すること
<p>カナダは多国籍なので、本当に様々な人種の方がいて、いろんな言語が聞こえてきました。多国籍国家である分、アジア人差別とかは、自分は経験しませんでした。</p>

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

<p>私は、1 度高校生時にカナダに行っていることから安心感がある事、寮生活に惹かれてカナダ・ヨーク大学での留学を選びました。寮生活は、上記に書いたように、最初はカルチャーショックを受けましたが、徐々に慣れていきました。ただし、毎日、外で食事を買う形になるので、多くのお金を使うことになると思います。カナダは、日本に比べ、物価が高いです。寮内にある、スーパーの中で飲料水を買うとき、一番安くて 300 円～です。</p> <p>外国の夜は日本に比べると危険なので、夜まで外出する時は、必ず男子と一緒にいました。また、地下鉄が怖かったのでウーバータクシーも利用したりしていました。</p> <p>カナダでの留学は、18 日間でしたが、毎日が刺激的で本当に楽しく、あっという間の 18 日間でした。語学学校では、明治大学だけではなくいろいろな日本の学校から学生が集まり、ヨーク大学の先生から授業を受ける形です。クラスメイトは日本人が多かった分、先生や買い物の際に積極的に英語を使った方が良いと思いました。</p> <p>英語の勉強を事前にした方が、留学中で得られる経験も充実したものになると思います。ただ、英語が話せなくても、話す姿勢が大事だと思います。単語だけでも、ジェスチャーを使ったりして何とか伝わります。非常に楽しく、忘れられない思い出が出来たので、少しでも留学を迷っている人にはお勧めしたいです。</p>

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	YUELI Summer Immersion Program
------------	--------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	46,867 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	7945 円	
現地通学費	0 円	(大学まで 徒歩5 分)
教養娯楽費	8934 円	交通費、チケット代
被服費	8690 円	セミフォーマルな服の購入費
雑費	19,482 円	PCR 検査費
その他	35,512 円	例:お土産
その他	円	例:
合計	127,430 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
なし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
学校が勧めた SIM カード、ポケット WiFi をネットで手続きした。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
Wi-Fi、割り箸やスプーン・フォークなど食事に使うもの、モバ充、SIM、除菌シート

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:寮が停電した。(1 時間ほどで復旧した)
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
ネットで治安の悪いところを調べ、外が暗い時間は出歩かないようにした。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)
地下鉄ではほとんど WIFI がつながらない。

滞在形態関連
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
バスやトイレが共有のため、自分が使いたいときに使えない時があった。 キッチンが使えないので、自分で電子ポットなどを持っていくと食事の幅が広がるため良いと思う。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
留学先での学習で良かった授業名や内容
Pronunciation Clinic よりネイティブのように発音するためのポイントやコツを学んだ。
課外プログラムについて
トロント市内のいろんなところへ行くことができ楽しかった。
滞在先・現地での生活に関すること
食料の調達や洗濯などすべて自分でやらなければならないのが大変だった。 自炊不可なので食費が高くなってしまう。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

<p>語学も学ぶことができ、現地で観光も楽しめると思ったからこのプログラムを選択した。 私は自分のクラスや周りは日本人しかいなかったり、自分から現地の生徒に話しかけなかったため英語を話す機会が少なくなりましたので、現地で自分から積極的に行動したほうがより有意義な留学にできると思います。 全然英語力がないまま留学したが、何も通じないわけではなかったため、英語力が低くても意外と留学できると感じた。しかし、英語力が低いと伝えたいことを伝えられなかったりするので留学前に勉強していくのはとても大事だと感じた。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ヨーク大学2022夏期
-----	-------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	35000 円	レシートが発行されないものもあったので概算です。
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5500 円	SIM
現地通学費	0 円	寮なので別途交通費はかかっていません。
教養娯楽費	10000 円	博物館などの入場料
被服費	45000 円	現地にしかないブランドや現地大学の服を購入
雑費	50000 円	物価が高いのでお土産を買うだけでも数が増えてしまうととても高くなってしまふ。
その他	20000 円	例:PCR 検査
その他	3000 円	例:交通費(バス、電車、レンタルサイクル)
合計	168500 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
困ったことはなかったが、単純に準備には時間がかかるので早め早めからやると焦ることなくできるので、できることがあったら済ませてしまった方がよい。 携帯、インターネットを使って書類等の準備が多いので忘れないよう気を付けた方がよいと思います。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:空港にてカナダドルに変換。 基本的にデビットを利用していました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
SIM を30日契約で購入。WiFi よりも SIM の方が不便なく使えると思いました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
カップラーメンやみそ汁などの日本食。 サングラスや日焼け止め(晴れの日は日差しがとても強いため。) 大きめのバッグ(行きはスーツケースに入れ、帰り荷物が増えた時に出せるようにする。) クレジットカード(カナダでの支払いはほぼカードでした。稀にカードのみという店舗もあるので必ず持参が必要だと思います。)

現地情報

1) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
事前準備の段階でインターネット等を用いて情報収集。現金やカード、その他貴重品は持ち歩く場合は何か所かにわけて持ち、パスポートなどの普段必要ではないものはなるべく持ち歩かない。 トロントは裏通りに行かなければ治安は良い方だと感じました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続は
いかがでしたか。
(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で
使用できない時はカフェに行った。)

基本的に WiFi 環境は日本よりも整っていて、観光地だと広い場所でもフリーWiFi があるところが多かった。地下鉄は全くつながらなくなるので事前にメモ等があると良い。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

学生寮 ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

マイナス面は偶数階に共有スペースがあったため、奇数階にいた自分は冷蔵庫やレンジを使いたいときはやや不便でした。ただ全体的に生活しやすく、部屋も広いトイレ、風呂は共有であるが部屋に近いので特に問題ありませんでした。気候的にも朝、夜が少し寒いくらいでとても過ごしやすかったため英語を勉強するにも、初めて海外に行くという人でも楽しく過ごせると思います。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

留学先での学習で良かった授業名や内容

現地の音楽や食事等、文化について様々学ぶことができた。特に、音楽に自分は興味があったのでとても楽しく学ぶことができた。授業で学んだことや知れたことが実際に体験できる環境にいるので、それが実際に体験出来たりカナダの国民的食事を食べれたときは嬉しかった。

課外プログラムについて

ナイアガラの滝や、カナダズワンダーランド等大きなところに行けるのでとても貴重な経験ができたと思う。学校からバスもあり不便なく移動できたし、自分の力だけではいけない距離にあるところも行けたので良かったです。

滞在先・現地での生活に関すること

食生活や治安も含め思っているよりも生活しやすかったです。日の入りがとても遅く20時でも明るいことが多かったです。そのため、夜まで出歩くこともありました。
物価がとにかく高いのでお金は余裕を持って行った方が良いと感じました。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

まず、自分はどこの国であれ留学をしたいという目標がありました。アメリカやオーストラリア等英語圏の留学を探していた所、このプログラムを見つけました。元々、カナダにはあまり意識はなく無知なことが多かったのですが少し調べていくうちに、トロントという街に行ってみたいと思い始めこのヨーク大学に行くことにしました。どこか特定の国に行きたいという夢や目標はあって良いと思いますが、今まで興味のない国に行ってみるのも様々な発見ができるのでおすすめします。

言語の壁があるから留学を渋るという意見を聞きましたが、思いのほか通じることが多い気がしました。日本語と多少ニュアンスが変わってしまうことは仕方ない、何とかして理解させるため何個か言い換えをしてみる等、対応や考え方を柔軟に持っていると思えば過ごせると思います。また、もし言いたいことを言えなかったり、なんて聞かれてるのかわからなかった場合があっても、そこは自分の課題なんだと受け止めました。最初は授業中の先生の英語すら聞けていなかった自分ですが、何日かするうちにスッと聞けるようになりました。日本語ではない環境に身を投じることはとても大切だと思います。

費用はかかるし準備にも時間がかかって大変なことが多いですが、現地での生活、帰国後の満足感からして自分への投資として文句なしでした。短期の留学だったので語学的な面では未熟なことが多いのですが、だからこそもっと長期間で留学をしたいと考えています。この文章では伝えられないものが確実にあります。ぜひ、他の文化や環境を肌で感じてください。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ヨーク大学派遣型研修
------------	------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	0 円	
現地通学費	0 円	(大学まで 5 分)
教養娯楽費	11550 円	
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	4725 円	例: 電車・バス代
その他	16000 円	例: お土産
合計	82275 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
なし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で1万円分を両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
現地で wifi 接続
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
インスタント味噌汁 レトルトご飯 洗濯ネット 爪切り

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
行先の治安をインターネットで調べた。かばんや貴重品から目を離さないようにしていた。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)
寮や街の wifi は比較的つながりやすかった。 しかしつながらなかったり、つながりにくかったりする場所もたまにあった。

滞在形態関連
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
調理不可かつお店が閉まるのが早く食料調達に困ることがあったので、日本からインスタント食品を持っていくことをお勧めします。 電子レンジと電子ケトルは使用できました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
留学先での学習で良かった授業名や内容
平日毎日1時間ある発音のレッスン 日本では習わないことを学べた
課外プログラムについて
野球観戦では日本と違う雰囲気を感じることができた
滞在先・現地での生活に関すること
1つのフロアで生活している人数に比べてシャワールームの数が少なかったため、1～2時間待った時があった。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

他の留学先に比べて、治安もよく優しい人も多くとても過ごしやすかったです。気候も日本より 10 度ほど低かったため、快適でした。カナダは多民族国家のため、人種差別などありませんでした。また、英語にアクセントがある人も気にせずに話し、聞き手も理解しようとしてくれるため、恥ずかしがらずに英語を話せる環境だと感じました。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	2022 年度夏季ヨーク大学短期研修
------------	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	43503 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	8330 円	ローミングを使用。早割キャンペーンにより定価の半額。
現地通学費	0 円	(大学まで 0 分)
教養娯楽費	8277 円	観光代、観光地までの交通代
被服費	0 円	
雑費	45180 円	お土産、検査代
その他	0 円	例:
その他	0 円	例:
合計	105290 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 用意していない。ほとんどの店でクレジットカード等の電子決済が使えるので困らなかった。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
ローミングを使用した。事前に期間を申し込むと半額になるサービスを利用した。紛失の心配がなかった点が良かった。ただ 3GB/d と使いきれないほど多かったため、金額面ではレンタル Wifiの方が安いかもしれない。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
電子レンジで温められるご飯。箸やスプーンフォーク、紙皿。延長コード。ポット。

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項: ランダムな PCR 検査に引っかかったが担当の先生に助けもらった。寮の鍵が使えなくて 45 分間扉の外で立たされた が、鍵を取り替えたならそのような事態が起きることはなかった。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
暗くなってからは極力出歩かないようにした。地下鉄は夜でも安全。腰に巻き付けることができるポーチに財布とパスポートを入れそれを常に持ち歩く(体から絶対に離さない)ようにした。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

寮のフリーWifiは速度が速くて快適だった。街中でも基本的に4Gで速度に問題はなかった。ただし地下鉄が地下にいる間はインターネットが繋がらないことに注意。インターネット通話はよく使用したが、電話を使うことはなかった。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮 ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

コンセントの数は4つ。部屋の設備は綺麗でインターネットも早かったので過ごしやすかった。共用スペースには1100Wの電子レンジがあり便利だった。共用スペースにてペアと発表準備を行ったりした。大学内のレストラン街も近いのでそちらを利用することもできる。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

留学先での学習で良かった授業名や内容

自分の意見を発表することを重視されたのが新鮮でとても面白かった。具体的にはペアで意見交換したり先生からの質問に答える場面が多かったため、そこで英語力が大きく向上したと感じる。カナダ国民である先生方から見たカナダに関する情報が聞けることは大変貴重。プレゼンテーションやVlogの課題も刺激的であった。これらは簡単な課題ではなかったが、事前に先生が例を交えながら詳しく説明してくれたため困ることはなかった。

課外プログラムについて

メリット:たくさん観光地に行くので思い出が増えやすい。CL(community leaders)や同じプログラムの生徒と仲を深めることができる。観光地では現地の人はもちろん世界中から来た人がおり交流できると見識が広がる。
デメリット:同じプログラムはほぼ日本人だった。CLを除くとあまり現地生徒との交流の機会がなかった。バスでの外出が多いので疲労がたまる。休日が少ないため休日だけでは各自の行きたいところ全てには行けない。日が沈むのが遅い(20時)ため放課後にも観光することを推奨する。行きたい場所とプランを事前に決めておくと効率的に観光ができる。

滞在先・現地での生活に関すること

カナダ人は優しい人が多いので嫌な思いをすることはほとんどない。トロントは治安が良いため事件に巻き込まれることはほとんどない。寮や大学の環境も総合的に良い。寮では仲間との結束が深まる。ただし物価は高かった。都心部に行くと路上で大麻を吸っている人もいた(大学内にはほぼいない)。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

自分の英語の能力を確認するだけではなく多文化共生社会であるカナダにはどのような人がいるのかを知りたいと考え留学することにした。ウクライナ情勢をはじめとする世界情勢を鑑みると北米はヨーロッパ諸国と比べて安全で、しかもトロントの治安は良いという話を聞いたことがこの留学先を選んだ理由である。留学生活では初めは文化の違いに戸惑うこともあった。例えば右側通行である点やチップを支払う点など小さな違いから、日常生活でも頻繁に自分の意見を求められるという大きな違いまで様々だ。しかし、わからない時はその場で聞くということ意識的に続けたことで徐々に適応できた。そのようなはつきりと自分を主張する文化もカナダ文化の一つである。また現地での多様な人との出会いと交流を通して文化や価値観の違いを知ることが出来、視野が広がった。そして同時に共通点を見つけることができたために現地の人と心理的な距離が近くなり、会話をする際に抱く恐れが和らいだ。以上の理由から留学は私にとって大きなプラスとなった。これから留学する人にアドバイスしたいことは2つある。1つは留学前に英語力をできるだけ身につけるべきだということだ。特に留学前はリスニングとスピーキングを重点的に学習すると良い。なぜならそれらは学校の勉強では足りず、英語の会話力は高めれば高いほど自分の留学が実りあるものとなるからだ。もう1つは失敗や間違いを恐れないことである。学校内の人は留学生だということを理解して接してくれるため、自分が表現などを間違えても笑うことはない。飲食店や街中の人でも大多数は優しいので聞き返しても拒否されることはない。また、たとえ良い表現が思い浮かばなくても、自分が話したいことが浮かんだら話しかけることも大切だ。単語を羅列するだけでも相手は想像しながら助けてくれるし、ネイティブと会話できたという自信が付き会話がさらに楽しくなるからだ。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ヨーク大学
-----	-------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	60000 円	
図書費	1500 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6000 円	
現地通学費	0 円	(大学まで 5 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	7900 円	
雑費	5000 円	交通費など
その他	50000 円	例:お土産
その他	円	例:
合計	130400 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
自分の入っていたプランが国外でも 14 日間使用可能なものだったので 2 回線準備して留学先で 14 日間経過した時点で切り替えるようにした。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
日本食、お湯を沸かすポット、洗濯洗剤、箸や皿、手提げ袋

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:私はなかったが、同じ留学した仲間の中には大学内に変質者を見かけたり、知らない人に声をかけられた方がいた。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
カナダは比較的安全だったが、夜は外を出歩かないようにしたり、危険なところなどは授業時の雑談で先生方が教えてくださった。寮では鍵がついているので少しでも部屋を離れるときは必ず閉めるようにした。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)
問題なく使うことが出来た。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
滞在先は大学内にある寮でしたが、思っていたよりも清潔感があり快適でした。ただ、部屋によっては内装の配置やベッドの高さなどばらつきがあるので想像と違うことがあるかもしれません。(実際に私の友人はベッドが腰上ぐらいまであり大変そうでした。)また、壁が薄いので気を使うことが多かったり、共有の冷蔵庫、電子レンジ、水道などはありますが不潔で使えなかったりするの日本の当たり前で気づけなかったことに苦戦することがあると思います。インスタントの日本食は持参すると恋しくなった時食べられるのでお勧めですがお湯などを温めるための耐熱容器や皿や箸を持っていくと快適に過ごすことが出来ると思います。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

留学先での学習で良かった授業名や内容
授業はコミュニケーションが多くすべて楽しかったが、中でもグループに分かれておすすめの音楽を紹介する授業が印象に残っている。様々なジャンルの音楽を知ることができ、音楽は国関係なく愛されていることを実感した。
課外プログラムについて
三週間弱という短い期間でもロント周辺の観光をしっかりすることが出来たので濃い加害プログラムになったと思う。中でも一番楽しみにしていたナイアガラ滝は想像以上に迫力があり印象に残っている。課外プログラムでは現地での生活感を味わうことが出来るので様々な発見をすることが出来た。
滞在先・現地での生活に関すること
カナダはクレジットカード決済が主流なのでカードは作るべき。また、私が留学した時は円安で何を買うにしても値段が高く、さらにチップも取られるのでお金は余裕をもって持つべきだと思う。他には、生活圏が変わることで気候や生息する動物、植物も変わるので現地の環境をしっかり調べるとよいと思う。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

<p>私がこの留学プログラムを選んだのは説明会で話を聞いた時一番惹かれたからです。私は海外に行って自分とは違う環境で過ごす現地の人の習慣を実際に見て体験したいという思いがありました。でも初めての海外に恐怖心もあって一歩進めずいました。そんな時に明治大学の短期留学プログラムを見つけて、学校が開催している3週間弱という短いような不安な人からしたら長いような期間に惹かれました。また、兄がカナダに留学したことがある親近感とプログラムの充実さを見て即決で行くことを決断しました。実際行った感想は日本と全く違う人種、食、気候、交通機関、自然、地形、匂いなどが新鮮で毎日が楽しく充実していました。カナダは多国籍なのでお互いを認め理解し合う印象を受け英語があまり得意ではない私も話すことが出来ました。留学はとても勇気のいることですが、その自分のためらいを押し切って一度挑戦してみると必ず良い発見があります。また、この短期留学プログラムは第一歩の挑戦に適していると思います。3週間というホームシックになっても耐えられる長さで、なにかあれば周りが助けてくれます。また、英語が話せるか不安でもジェスチャーなどで思いを伝えようとすれば相手側も理解しようとしてくれるので想像以上に乗り越えられます。またこの留学が更なる海外への興味、語学に対する意欲を上げてくれると思います。大学生でしか出来ないこの貴重な経験にぜひ挑戦してみてください！</p>

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ヨーク大学2022年夏季
-----	--------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	物価が高く、1食当たり1000円くらいだった
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3000 円	
現地通学費	0 円	(大学まで 0 分)
教養娯楽費	20000 円	
被服費	30000 円	
雑費	0 円	
その他	0 円	例:
その他	0 円	例:
合計	103000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
ArriveCan などコロナ関係も含めた書類の用意の仕方が複雑で大変だった。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 近くの両替所 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
大学から勧められた SIM カードを利用したが、初めに二日間程は回線が故障していたらしく、インターネットが使えない状態で、大変だった。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
日本のお菓子

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項: SIM カードの回線が悪くてインターネットが使えなかったこと、ベッドが腰の高さまで高かったこと、帰国後の荷物が一緒に飛行機に乗っていなかったこと
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
インターネットで危険な地域を調べて、常に防犯ブザーを持ち歩いていた。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)
SIM カードの回線が悪く、2日程インターネットが使えなかったが、大学にいる時は大学の Wifi が使えたため大丈夫だった。

滞在形態関連
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
廊下や隣の部屋からの声丸聞こえでドアの開閉音も響いて、目覚まし音も色んな部屋から鳴っていた。共用スペースはトイレ、シャワー、洗面所が一つになっていて、その音も外から丸聞こえだった。同じく共用スペースのキッチンの冷蔵庫は匂いが臭かった。共用スペースのゴミ箱は、毎日回収してくれて良かった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
留学先での学習で良かった授業名や内容
2人組のディスカッションや、グループでの発表や、個人での課題など課題の種類がたくさんあって、刺激ある内容を受けることができた。課外プログラムと合わせて先生が期限を調節してくれて、楽しむ時は楽しみ、無理なく課題に手をつけることができた。
課外プログラムについて
課外プログラムが充実していたため、旅行感覚で授業間のいい気分転換になった。また、クラスメイトや違うクラスメイトとも話す機会ができて良かった。
滞在先・現地での生活に関すること
やはり、日本と比べてしまい不便と覚えることが多かったが、これからの人生の中で役に立つだろうと思うような生活をする事ができた。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

<p>カナダを留学先に選んだのは、授業以外のアクティビティーが他の留学先と比べて多かったからです。もちろん向こうで受ける授業も貴重な体験になりましたが、外に出てみて気づくことも沢山あったし、何より慣れない生活の中でのリフレッシュとして、旅行のように楽しむことができました。グループでの留学だったので、やはり一人ではないという安心感がありました。現地では、楽しいことだけではなく、ハブニングもあって私の場合は、SIM カードの回線が悪くインターネットが最初の二日程使えなかった、大学寮のベッドの高さが寝るのにも一苦労な高さだった、カードでの支払いが急にできなくなった、日本に到着したら荷物が一つカナダに置いてかれていたと、困難が人と比べて多かったと思いますが、その分精神的にも強くなれた気がします。どうしようと思っても、自分から行動しなくては、解決できないことを実感して、帰ってきてからは、すぐに行動するようになったのが、一番自分の中で変わったところだと思います。しかし、現地では日本語でも自分の知らない話題について英語で授業を受けるといったかなりハードなところもありました。もっと留学に行く前に勉強しておけば、もっと喋ることができたら、もっと充実した日々を過ごせたのではないかと少し、後悔しています。これから、留学しようと思っている人にアドバイスするとしたら、世界共通の話題に少しでも触れておくと良いと思います。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ヨーク大学派遣型研修
------------	------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約7万円	
図書費	0円	
学用品費	0円	
携帯・インターネット費	約1万円	
現地通学費	0円	(大学まで徒歩約2分)
教養娯楽費	0円	
被服費	約3万円	
雑費	約1万円	
その他	約5万円	例:お土産
その他	円	例:
合計	約 17 万円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
ないです。明治大学から提示された資料通りに入力すれば簡単に申し込みができた。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で換金し持参しました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
日本で事前に海外用の SIM をインターネット上で購入し、持参した。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
タンブラーや耐熱容器、室内用スリッパ、日本の保存食、帰国時に使用できる折りたたみ可能な預け用の荷物入れなど

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
現地で生活する日本人の友人や学校の先生から現地の情報を伺ったり、外務省海外安全ホームページをこまめに確認したりした。1 人行動を控え、早く帰るようにした。また、物乞いなどにははっきりと断るようになった。犯罪には巻き込まれなかった。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネットはきちんと使用できた。持参した SIM も問題なく使用できた。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮 ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

自炊不可のため耐熱容器が非常に役に立った。大学や寮に給水器があるため、水筒やタンブラーも役に立った。水回りが全て共用のため、特に女性は鏡を持参すると良いと思う。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

留学先での学習で良かった授業名や内容

現地の先生が日本人の先生の授業方法とは大きく異なっていた。生徒全員に意見を求めている、グループワークが多かったりと新鮮で面白かった。

課外プログラムについて

授業も観光も充実しており、19日間とは思えないほど多くの体験ができた。多忙がゆえに体調を崩してしまう友人もいたが、貴重な時間を過ごせた。

滞在先・現地での生活に関する事

滞在先はスリが少なく、比較的治安の良い地域だったが、女性が 1 人で歩くことや夜で歩くことは控えたほうが良いと思う。同じロントの中でも収入の差でもその地域の収入により治安は大きく変化すると感じた。団地が多い地域は物価が安いけど治安が悪かった。帰りが遅くなる場合はウーバータクシーの利用を勧めたい。簡単に乗車ができ、事前に値段が決定しているため、不当な料金を請求されることもなかった。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

カナダがモザイク国家と呼ばれていること、英語を学ぶプログラムであること、観光が充実していることを理由にこの留学プログラムを選んだ。3食自力だったため、非常に日本食が食べやすくなった。また、水が合わなかったり、乾燥しやすかったりというような理由から肌荒れや、髪がごわつきなど体の不調があった。文法の失敗を恐れずにとりあえず話すことが重要だと感じた。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ヨーク大学
-----	-------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	70000 円	自炊ができないため一食あたり1500円～程度はかかってしまっていたと思う
図書費	0 円	図書館を利用できた
学用品費	0 円	学用品は日本から持ってきたもので十分だった
携帯・インターネット費	12000 円	SIMカード代
現地通学費	0 円	(大学まで徒歩3分)
教養娯楽費	50000 円	観光など
被服費	30000 円	記念品として必要以上に買ってしまった
雑費	10000 円	かさばるものや消耗品は現地購入した
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	172000 円	物価も高く事前学習で聞いていた以上に費用が高かった

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
渡航前に Arrive can などをアプリから申請する必要があったが、説明書に記載されている以外のことも回答する必要があり、手間取ってしまった
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本国内で5万円分換金してから渡航した その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIMカード、WiFi)はどのように準備しましたか
日本国内でインターネットを通じてSIMカードを注文した
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
準備して行き助かったもの: 洗濯ロープ、洗濯ネット、洗濯バサミ、室内履き用スリッパ、館内履き用スリッパ、ハンドクリーム、化粧水、長袖の服、アルコール消毒液、ウェットティッシュ、ボディシート 準備した方がよかったもの: 耐熱容器、水筒、カトラリー(箸、フォーク、スプーンなど)

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: 不審者に遭遇し、留学先の先生に相談した) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ネットで調べたうえで、一人行動はなるべく避けて行動した 荷物はボディバッグのようなバッグに入れて肌身離さず持ち歩いた
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)
大学内や寮内の Wi-Fi はどこでも快適に繋がったため、モバイル通信はキャンパス外でのみ使用した

滞在形態関連
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
寮内にはケトルややかんが無く、日本国内から持ち込んだインスタント食品などを食べるためにはお湯を沸かすためには別途の耐熱容器が必要。100均などはないため日本国内で買ってから来る方が良い 寮自体はそこまで汚くはないため安心して生活できたが、バストイレが男女共用のため潔癖症の人は気を付けた方が良い 個室の壁が薄いため、騒音が気になる人は耳栓があると良い

プログラム選択の参考となる点を記載してください
留学先での学習で良かった授業名や内容
授業中は常に英語で会話する必要があったため、たとえうまく話ができなくても英語で伝えようとする力がついた 授業内容としては先生の話聞いて学ぶ講義形式が多く、もっとグループワークやコミュニケーションを中心とした授業であればもう少し英語力も向上したと思う
課外プログラムについて
トロント周辺の主要観光地はほぼ周ることができたため、良い経験になったと思う これほどの課外プログラムと授業が含まれているプログラムであれば満足度が高い
滞在先・現地での生活に関すること
トロントは日本よりも湿度が低く乾燥しているため、たとえ気温が高くてもほとんど汗をかくことがなく日本の夏よりも圧倒的に快適に過ごすことができた トロントは東京よりも緯度が高いため、日が昇るのは早く日が沈むのは遅く、渡航直後は時間間隔が狂いやすかった トロントの8月は体感で日本の初秋くらいの気候のため温度調整のできる服装だと過ごしやすい

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

<p>今年の秋からアメリカでの単独長期留学を予定しているものの、今まで一切の海外渡航経験が無かったため、長期留学前の下準備も兼ねてアメリカに近い北米圏で短期滞在をしたいと考えていたところ、今回のトロント留学プログラムが行われることを知り、参加を決定した。本プログラムは 20 人程度の明大生と一緒に留学することができるため、海外渡航経験が無かったり、一人だけで渡航することに対して不安を感じるものの海外留学をしてみたいと考えている人には、ひとまず参加してみることをおすすめできるのではないかと考える。その一方で、既に十分な英語力を持ち合わせている人や完全に英語漬けの生活を送ってみたいと考えている人は他のプログラムへの参加を検討することも視野に入れて良いと思う。ただし、プログラムに参加したことで得られた経験は唯一無二であり、新たな交友関係を広げることができたため、参加したことで得られたものは大変多かったと感じる。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	York University English Language Institute Summer Immersion Program
------------	---

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 63,000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	44,917 円	日本で借りた WiFi、電話専用の携帯電話
現地通学費	0 円	(大学まで 0 分) 大学寮生活のため
教養娯楽費	4,920 円	フェリー代
被服費	7,038 円	
雑費	約 32,000 円	
その他	4,373 円	例: 交通費、洗濯
その他	20,560 円	例: カナダ出国前 PCR 検査
合計	約 176,808 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特に困ったことはなかった。 大学が提示して下さった詳しい資料があったため、それにしたがって進めることができました。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本円 3 万円をカナダドルに両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
私のスマホは SIM ロックがかかっていたため、WiFi をレンタルした。また、Arrive CAN の登録に、現地の電話番号が必要だったため、電話専用の携帯(ガラケー)もレンタルした。(実際には1度もつかっていない) WiFi は事前に自宅配送をしてもらうのが便利。返却 BOX は、到着ロビーのすぐ近くにあったため、スムーズに返却できた。 ただ、WiFi は割と重く、ずっと持ち歩いていないと使えないので、個人的には SIM の方が便利かな、と思う。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ティッシュ、ウェットティッシュ、ビニール袋、ジップロック、エコバック、複数の充電プラグ・コード(パソコン、充電器、スマホ、WiFi など全部一度に充電したいため)、ティーバック(麦茶・緑茶など)(水があまりおいしくないため)、簡易水筒、サンダル(お風呂場用)、洗濯物干し用のひも、みそ汁、きつねうどん、日記を書く用のノート

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
バッグのチャックが完全に閉まるものをよく持ち歩いていた。また、スマホには肩がけ出来るストラップをつけ、絶対になくさないように意識していた。 幸い、犯罪には巻き込まれなかった。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮、大学のWiFiは基本的に不便なく使うことができた。たまにつながらない場所もあったが、その際は自分のWiFiで対応していた。街のほとんどのお店にWiFiがあるが、メールアドレスや名前などを入力しないと使えない場合が多く、個人情報入力は少し怖かった。ほとんど使わず、自分のWiFiで対応していた。

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
寮の個室は、清潔感があり、収納も多く、窓からの景色もよかったため、非常に過ごしやすかった。ただ、電気が常に暗いため、最初は驚いたが、徐々に慣れた。共有部分のバスタイレも、清掃員の方々がこまめに清掃してくださっていたので、清潔感が保たれていた。ただ、前に使った人の髪の毛などは気になった。自分の好きな時間に好きなだけ使えるため、自由度は高かった。キッチン、冷蔵庫が非常に汚く、自炊が不可、ということもあり、水・ポット・電子レンジの利用しかしなかった。共有スペース(リビング)では、友達と集まってパーティーをしたり、ご飯を食べたり、気づいたら人が集まっている、というようなアットホーム感があり、とても気に入っていた。	
寮では、食べ物はすべて自分たちで探さなければならなかったため、最初は苦労したが、慣れてくると、レベルの高い食事をするのができて、大満足だった。自分の好みに合わせた食べ物を探し、食べることができたため、食の好き嫌いの多い私にとっては、ホームステイよりも、寮生活の方が向いていたのではないかと思います。	
寮では、日本人とずっと一緒にいたため、英語を話すことはなかった。	
そのため、授業以外でも英語を使ってコミュニケーションをしたい、という方はホームステイ、食事や入浴に自由が欲しい、という方は寮滞在をおすすめします！	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
留学先での学習で良かった授業名や内容	
カナダの偉人や音楽についての授業は、日本にいたら触れる機会のない内容ばかりだったので、非常に興味深かった。1番印象に残っているプレゼンは、セルフイー(自撮り)についてのもの。ペアで、有名人のセルフイーを選び、それについて分析して(写真が撮られた日、場所、理由、構図、影響など)発表する、というものだった。今まで、写真を分析する、という機会はなかった。多くの気づきがあり、非常に有意義な授業であった。	
課外プログラムについて	
2日に1回程度の頻度で有名な観光地に行くことができた。コミュニティーリーダーの外国人の方たちがとても可愛くて優しく親切で、いつも私たちを観光地まで連れて行ってくれた。私がずっと行きたかったトロントアイランド、そしてナイアガラの滝に行くことができ、非常に満足している。その観光地まではスクールバスで行くのだが、シートベルトがないのにも関わらず、絶叫マシンのような揺れ具合で、換気のため窓は全開であったため信じられないくらい寒かった。バス酔いがひどい子は、途中から参加を断念していた。	
滞在先・現地での生活に関すること	
ヨーク大学は、大都会であるユニオン駅周辺に比べると田舎であり、自然豊かな環境であった。都会は騒音がひどかったり、ごみが散らばっていたり、と正直その周辺には住みたくないな、と思った。そのため、自分には田舎にあるヨーク大学が合っていると感じた。滞在先に関しては上に記載済み。	
電車やバスを使って、自分の行きたいところに行けるので、自由時間が多いプログラムの方が、より自分好みに楽しめるかもしれない。	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留學生活全般について、留學を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私がこの留学プログラムを選んだ理由は、「カナダに行きたいから」です。高校生のころから、大学生になったらカナダに留学する、と決めていました。トロントアイランドから見える景色やナイアガラの滝が見たかった、というのはもちろん、多民族、多文化で有名なカナダ、トロントで、それらを、身をもって感じたいと考えていました。また、夏季の短期プログラムを選んだ理由としては、ひとり暮らしも1人で飛行機にも乗ったことがなく、食の好き嫌が多い私は、まずは短期で留学とはどのようなものかを感じてみようと思ったからです。

実際に行ってみて感じたことは、友達の助けが非常に心強いということと、ハードルを下げるのが大事、ということです。初めて海外に行く、留学に行く、という方は、一緒に行く日本人が多いプログラムを選ぶと心強いと思います！（日本語ばかり話してしまいますが）

ハードルを下げるのが大事、というのは、あまり期待をしない、ということです。特に、食事。ハードルをある程度下げておくと、「あ、思ったよりも美味しいじゃん」となります。（多分日本で食べると全然おいしくないってものもあった）そして、店員さんの態度。日本の丁寧すぎる接客が面倒と感じるくらいカナダの店員さんはテキトウです。最初は驚きますが、期待をしなくなってから、それが普通に感じるようになりました。

留学は短期でも、自分が何を目的として留学するのか、何がしたいのか、などをしっかり考えて、留学先でも悔いなく積極的に行動することで、一生の思い出になります！！たくさんの新しい出会いがあり、多くの人から刺激をもらい、自分が成長するきっかけにもなります。実は私は一度、春休みの短期留学をコロナの影響で辞退しています。今回もコロナの影響がゼロではなかったですが、諦めずに応募して初留学に挑戦することができて本当に良かったと心から思っています。

この報告書を見て、多くの方に留学に挑戦しようと思ってもらえたら嬉しいです！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ヨーク大学派遣型研修
------------	------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	10000 円	SIM カード代
現地通学費	0 円	(大学まで 徒歩5分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	1500 円	洗濯代
雑費	20000 円	PCR 検査
その他	25000 円	例: 土産
その他	2000 円	例: 交通費
合計	108500 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
慣れない申し込みである上、すべて英語表示なので一応日本語の説明は提供していただいているものの難しさを感じた
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 事前に日本で外貨交換に行った その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
事前に日本でカナダ用 SIM を購入した
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
現地ではお店の閉まる時間が早くて夕食に困ることが多かったため、そのような場合にも備えて日本食を持っていくことをおすすめします

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ホームレスが多い都心部では警戒心を保ちながら歩き、交通機関では眠ることのないように過ごした。犯罪には合わなかったが、自分の荷物は体の前で抱えるように歩くこと、置きっぱなしにしないことを意識した。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

一度停電した際に寮の WIFI が落ちてしまったが、それ以外は快適に過ごせた。街にも WIFI が多く便利だった。

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮	<input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室	<input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス	<input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
自室を安心感のある空間にするとリラックスできて、ストレスが少なく海外生活に慣れていくことができると思いました。そのため、自分の部屋を意識した部屋作りができるようなものを持っていくこともおすすめだと思います。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
留学先での学習で良かった授業名や内容	
授業は自分のレベルに合った内容で、英語をより身近にするために楽しいクイズやディスカッションが多く設けられていて、全てが理解しきれなくても安心して楽しく受講することができました。	
課外プログラムについて	
現地の学生がフレンドリーに案内してくれて、到着してからは自由に動けるので観光のようでとても楽しかったです。	
滞在先・現地での生活に関すること	
日照時間がとても長く、その分だけ楽しむことができる時間も長かったので毎日がとても充実します。	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

英語に対する抵抗感を減らし、精神的に強く成長できることを期待して申し込みました。不安も多く、神経質に構えていた分、実際は、英語はコミュニケーションツールの一つでしかないことや、みんなが自由でラフなスタイルの生活を行なっている様子を見てすぐ柔軟な考え方になりました。自分が見えていた視野はとても狭く、偏った考えをしていたことに気がつかされたり、日本を含め全ての国の良さを積極的に探す癖がついたり、褒め言葉や要望も後悔のないよう、言いたいことは必ず口にする癖がつきました。帰国してから必ず自身の成長が感じられると思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	English Intensive Course III カナダ ヨーク大学 English Language Institute (YUELI)
------------	---

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 35,000 円	
図書費	0 円	
学用品費	1,601 円	洗濯機利用代
携帯・インターネット費	10,764 円	プリペイド式 SIM カードを利用
現地通学費	15,000 円	(大学まで 徒歩 0 分)地下鉄代+手荷物超過料金
教養娯楽費	17,000 円	ナイアガラクルーズ、舞台チケット代
被服費	0 円	
雑費	300 円	歯磨き粉代
その他	約 130,000 円	例:おみやげ代
その他	19,477 円	例:PCR検査代
合計	229,142 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にありませんでした
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 出発前に銀行で換金 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
日本の出国前にプリペイド式 SIM カードを購入し、SIM カードを受け取った状態でカナダへ行きました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
延長コード(コンセントが部屋の 1 か所にしかなかったため、役立ちました) インスタントのカップ麺とみそ汁、パックの白米、駄菓子(パパッと準備でき日本の味が恋しくなったときに便利でした) ウェットティッシュ(手を拭くだけでなく、部屋に落ちた髪の毛を掃除するのに役立ちました)

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:プログラムの責任者) 特記事項:カナダ政府による無作為の PCR 検査に選ばれ、現地で検査を受けなくてはならなくなったときに、プログラムのマネージャーに相談、サポートしてもらいました。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
外国に行った際の防犯対策はインターネットで収集し、実際はスマートフォンをカバンの内ポケットかズボンの前ポケットに入れるように徹底しました。鍵などの貴重品もカバンの内ポケットに入れ、チャックは必ず閉めるようにしていました。また、財布も人目につかないよう、なるべく長時間出さないようにしていました。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

特に問題ありませんでした。寮、学内ともに不便なく繋がりました。フリーWi-Fiもほとんどのスポットにあったのでその都度利用していました。ただ、SIMカード利用だったので、街中を歩くとバスや地下鉄での移動中ではフリーWi-Fiも使うことができなかった点は少し不便でした。

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
<p>部屋はきれいで問題なく使うことができました。キッチンにはシンクと電子レンジとしか置いていないので、寮で食事を取る際には注意が必要です。共用の冷蔵庫も置いてありますが、他の人に取られてしまうリスクを考えると、冷蔵が必要なものは買わない方が無難かもしれません。キッチンだけでなく学内の随所に飲料水が入られるウォーターサーバーがあるので、飲料水に関しては問題なく、電子レンジで沸騰させればインスタント食品も食べられました。共用のトイレとシャワーは、場所によっては電気がつかなくなったり鍵がかかなくなったり、ドアがきちんと閉まらないような場所もありました。</p>	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
留学先での学習で良かった授業名や内容	
<p>カナダの文化に関する Academic Workshop が良かったと思います。カナダ人の価値観や国民性など、アイデンティティに関わる部分を学ぶことができ、現地の学校で現地に暮らす人からでしか学べない内容で興味深かったです。また、カナダの音楽についての授業も、今までは外国の音楽は洋楽とひとまとめにしていたのですが、カナダ出身アーティストの有名な曲から面白い曲まで様々な音楽に触れることができ、興味深かったです。</p>	
課外プログラムについて	
<p>ナイアガラの滝といった観光地から、Canada's Wonderland といった現地での人気スポット、野球観戦など、バラエティに富んだ様々な場所に行くことができ、とても楽しめます。基本的に集合時間までは自由行動なので、それぞれで思い思いの時間を過ごすことができると思います。カナダでしか経験できないことや、日本との違いを肌で感じるができると思います。</p>	
滞在先・現地での生活に関すること	
<p>個室だったので、1人の時間も十分に確保できました。現地の学生も同じ場所で暮らしているので、単に違う国の人と一緒に生活する機会だけでなく、コミュニケーションの機会としても良い場になると思います。実家暮らしの人にとっては、食料品の調達や洗濯といった家事もするため、完全に自立した生活スタイル下で生活できると思います。</p>	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

カナダのプログラムを選んだ理由としては、プログラムの内容が英語能力の向上、特にスピーキング能力の向上に焦点が当てられていて、スピーキング能力が他に比べて弱い自分に適していると思ったからです。実際に、授業ではプレゼンやVlog動画制作など自分のスピーキング能力を伸ばす機会が多くありました。授業は研修初日に受けたテストの成績順に分けられるため、クラスメイトも自分と同じくらいの英語レベルを持った人ではありませんが、他の人が話している様子を見て、自分も頑張ろうとモチベーションの維持にもなりました。また、同じ明治大学の人でも学部や学年も違う人たちと親交を深めることができると同時に、同じプログラムに参加している他の大学の人たちとも親交を深めることができました。現地での生活を通して、カナダの良さを発見したり日本の良さや課題を再発見したりする機会になりました。どこかに行くだけでなく、現地の学生や先生、街の人との他愛無いコミュニケーションややり取りであっても、現地でしか経験できず且つ多くのことを感じられる絶好の機会でした。しばらくすると生野菜が欲しくなったり和食が恋しくなったりしますが、寮での生活も慣れてしまえば心地よく感じました。滞在中にトラブルもありましたが、プログラムが終わった今では良い思い出になったと思えるほど、自分の将来の糧になる濃い18日間を過ごすことができました。参加するか迷っている人がいれば、ぜひ参加することをオススメします！